

臨床補綴治療の勘所2023

- 現在の到達点と知らないといけないスキル -

第2回 審美性を考慮した実践補綴

・ 現地開催:2023-08-24 (木) 19:30~21:45 会場:福岡県歯科医師会館視聴覚室
・ 後日オンデマンド配信:2023.9.4(土) ~ 9.17(金) on line

1.審美性と予後の向上のための補綴前処置

~歯肉ラインと歯槽堤を整える~

くきた歯科クリニック

院長 久木田 大 先生



補綴処置を計画し審美的な結果を得るためには、補綴装置の仕上がりに加え、歯肉ラインとの調和が非常に重要である。

長期的な予後に関わる因子として、適切な歯内療法、歯根破折の予防のために歯軸やフェルールを整えることに加え、歯肉ライン、歯肉の厚みを整えることで、審美性を向上することにつながると考えられる。

今回の発表では、症例を交えて考察したい。

2.補綴前処置の重要性について考える

ごこちデンタルクリニック

院長 河島紘太郎 先生



カリエスやペリオ、また部分欠損や、審美障害があり、補綴修復を行わなければならない症例において、様々な事項を考慮しなくては口腔内で補綴装置を長期に機能させることは難しい。

今回、補綴前処置としての根管治療、歯周治療、生物学的幅径の獲得、矯正治療、プロビジョナルワークの重要性について、症例を通じて提示したい。

3.長期予後を目指したメタルフリー補綴歯科治療

福岡歯科大学咬合修復学講座冠橋義歯学分野

助教 高江洲 雄 先生



近年では、プレス法やCAD/CAMによる切削加工法を援用することで、強度と審美性が両立されたセラミックスの臨床応用が可能となった。

本講演では、現在使用可能なメタルフリー補綴歯科治療について、文献ベースで多角的に考察を行い、臨床経過について紹介させていただき、最新の情報を提供したい。

■ 座長

あおき歯科クリニック

院長 青木 隆宜 先生



近年、インターネットやSNS等の普及もあり、人々の審美に対する意識・要望がより高くなってきている。

しかし我々歯科医師は、審美という側面だけでなく、機能性の上に成り立つ持続的な美しさを追求した補綴治療を目指して日々研鑽している。そのような治療の実践について、開業医・大学所属医師3名の先生方にそれぞれの見地でご講演していただく。

全コース

①歯科医師	19,000円
②福岡大同窓会 令和4年度会費納入者	17,000円
③歯科衛生士・歯科技工士・スタッフ・その他歯科医療従事者	9,000円
④歯科医師臨床研修医・大学院生	8,000円
⑤歯学部学生・歯科技工学校学生・衛生士学校学生	無料
⑥歯科医師免許取得後3年以内の同窓会費納入者	無料

単発受講

⑦歯科医師	7,000円
⑧歯大同窓会 令和4年度会費納入者	6,000円
⑨歯科衛生士・歯科技工士・スタッフ・その他歯科医療従事者	4,000円
⑩歯科医師臨床研修医・大学院生	3,000円
⑪歯学部学生・歯科技工学校学生・衛生士学校学生	無料
⑫歯科医師免許取得後3年以内の同窓会費納入者	無料

